

2017-B

VI53B

拠出金・基金
の名称

Gaviワクチンアライアンス

種 別

 イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】Gaviワクチンアライアンス

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国際保健政策室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

活動目的等：Gaviは開発途上国の予防接種率を向上させることにより、子どもたちの命と人々の健康を守ることを目的として設立された官民パートナーシップ。2000年にスイスで設立。

開発途上国を対象とし2016年からは新たに以下を目標として活動を行っている（2016-2020戦略目標）。

- 1 平等なワクチンの導入・普及と接種率の上昇の加速化
- 2 保健システム強化にあたり、その一部としての予防接種の効率性と有効性の向上
- 3 各国の予防接種プログラムの持続可能性の改善
- 4 ワクチン及び他の予防接種関連品の市場形成

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	2,090,000	18,818		1米ドル=110円	100
平成28年度	2,300,000	19,167		1米ドル=120円	100
平成27年度	2,063,536	18,759		1米ドル=110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

1 Gaviへの拠出を通じて期待される主な効果は以下の2点。

(1) Gaviへの拠出を通じた乳幼児死亡率の削減

(2) 2016-2020の次期戦略では、さらに3億人の人々に予防接種を行い、500-600万人の命を救うことを想定。

2 G7伊勢志摩ビジョンにも言及されたGaviの取組に、日本も応分の貢献をすることで、地球規模課題に積極的に取り組む姿勢を示し、我が国の誠実な姿勢をアピールできる。Gaviの具体的な実績は以下の通り。

(1) Gaviは 設立以来18年間で、7億人の子どもたちに予防接種を行い、1000万人の命を救った。

(2) ポリオ根絶に向けた活動においてもGaviは大きな成果を上げており、Gaviの支援によって2016年末までに54か国がポリオ不活化ワクチン(IPV)を国の定期予防接種に追加し、4,000万人以上の子どもにIPV接種を提供。

【備考】